

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	自主防災会育成事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	危機管理部	課等名	防災交通課		包含する細々目	1	9	1	5	10	2	8,653
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画条例等		飯田市地域防災計画				
		事業期間	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市民	飯田市住民基本台帳人口(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			107938	105701		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	自主的に防災訓練に参加する。	防災訓練参加者数(参加者数/住民基本台帳人口×100)	18目標	最終目標	30	
		(%)	18実績	15	19目標	20
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	自分たちのまちは自分たちで守るため、各地区自主防災会や住民の防災意識の高揚、防災活動、組織強化を図るために、下記の事業を実施する。 ・地区自主防災会が、災害時の初動資機材を整備することに対して、予算の範囲内で2分の1の補助を行う。 ・飯田市地震防災訓練に合わせて、拠点となる地区(メイン地区)の自主防災会が実施する防災訓練に対して、30万円を上限に補助を行う。 ・飯田市自主防災会連合会に対して運営費として50万円の補助金を交付する。連合会は、防災講演会等の啓発事業を行う。 ・地区自主防災会や住民への防災講演等。	18年度の実績 19年度計画	防災機器整備事業により資機材を整備し、それらを活用して防災訓練等を実施する。 防災訓練参加者数(人)	17000 20000

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	8,551	8,653
事業費計(A)	8,551	8,653	
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,000	19年度 1,000
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	3,576	3,576
	トータルコストA+B	12,127	12,229

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する。	市民が災害にそなえている割合(%)	現状値	40.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
		火災発生件数(件)	現状値	63	19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標	50	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
・平成7年度に自主防災組織が連合組織化されたことによる。 ・地震防災対策強化地域に指定される。	東海地震の切迫性が高まっており、いつ起きてもおかしくない状況になっている。 16年度に全国的に大きな水害があったことから、地震だけでなく、風水害に対する意識も高まった。 18年7月集中豪雨の発生により天竜川水域で被害発生	地域における資機材等の備蓄整備について、議会からも要望がある。 地区自主防災会から事業の充実について要望がある。

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <div style="position: absolute; left: 100px; top: 50px; border: 1px solid black; padding: 2px;">実施年度</div> <div style="position: absolute; left: 180px; top: 50px; border: 1px solid black; padding: 2px;">具 体 化</div>	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	